

# JA 全厚連情報

～ 安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献する ～



2023

5

No. 1 | 27



©よい食プロジェクト

JA ZENKOUREN INFORMATION

# 目 次

- 特定行為研修修了者の活用事例等について共有  
特定看護師部門応援プログラム Vol.1 を開催 1
- ナッジ理論を活用した健診受診率向上等について研修  
健診取組連絡会をWEB開催 2
- JA全厚連・元経営管理委員会会長・雨宮勇氏などが受章  
令和5年春の叙勲・褒章 4

## ・通信員日より

- 白河厚生総合病院附属高等看護学院入学式開催（白河厚生総合病院附属高等看護学院） 5
- お産でお米をプレゼント（土浦協同病院） 6
- 就職説明会に参加（JA茨城県厚生連） 7
- 第51期生が入学（土浦協同病院附属看護専門学校） 8
- 特定行為研修修了式を行いました（相模原協同病院） 9
- 臨床研修医修了証書授与式を行いました（相模原協同病院） 10
- 神奈川DMA T-L指定病院に認定されました（伊勢原協同病院） 11
- 看護専門学校2校で入学式（厚生連看護専門学校・するが看護専門学校） 12
- JA愛知厚生連のスペシャルムービー「その背中」篇を公開しました（JA愛知厚生連） 13
- アイリンブループロジェクトの奇跡の花を仙台市へお送りしました（海南病院） 15
- 新型コロナワクチン大規模集団接種会場の運営を終了しました（JA愛知厚生連） 16
- がん市民公開講座を開催（松阪中央総合病院） 17
- 令和5年度新規採用者研修を開催（JA三重厚生連） 18
- 院内保育所を新築（三重北医療センターいなべ総合病院） 19



©よい食プロジェクト

全国厚生農業協同組合連合会  
〒100-6827 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル  
TEL(03)3212-8000 FAX(03)3212-8008  
E-Mail: jigyounei@ja-zenkouren.or.jp  
(事業運営支援グループ)  
<http://www.ja-zenkouren.or.jp>  
編集責任者 中村 純誠



## 特定行為研修修了者の活用事例等について共有

### 特定看護師部門応援プログラム Vol.1 を開催

本会は3月17日、厚生連医療スタッフ応援プログラムとして「特定看護師部門応援プログラム Vol.1」をWEBで開催し、18 厚生連 70 施設から看護部長など 204 名が参加した。

「厚生連医療スタッフ応援プログラム」は、厚生連病院の医療スタッフが抱えるテーマについて、部門別の講演やディスカッションによる情報共有、解決の一助となるような場を提供することを目的として、令和4年度は、試行的に**事務部門**、**リハビリ部門**及び**特定看護師部門**で「応援プログラム」を実施し、令和5年度は、**専門看護師・認定看護師部門**を加えた上で、**定期開催**することとしている。

今回開催した特定看護師部門応援プログラムでは、JA 岐阜厚生連 久美愛厚生病院 看護部長 富田 和代 氏から「特定行為研修修了者による地域包括ケアシステムでの活動」、医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 看護部長 小松崎 香 氏から「特定看護師活用に向けた取り組み」について講演いただいた。

富田氏は、訪問看護における特定行為研修修了者の運用等について報告し、「看護師が医師の指導や支援を受けて、患者の治癒に関わることは、医師の診療の補助のみではなく、患者や家族の安心にもつながり、ときどき入院・ほぼ在宅という地域包括ケアシステムの推進につながる」と述べた。

小松崎氏は、院内における特定行為に関わる組織体制等について説明し、「特定看護師のモチベーション維持のために、データを活用して個々の活動の見える化を実施することが大切だ」と述べた。

参加者からは、「創傷管理の特定行為修了者の活用の状況が具体的にわかった」「特定行為研修修了後の体制作りについて理解できた。具体的な内容であり、大変参考になった」「特定行為研修修了者の活動、体制（相談体制）など自施設で検討したい」「タイムリーに情報提供し合えると、全国にある病院のネットワークを強みとして活用できる」「オンライン開催は参加しやすい。自分だけでなく副看護部長にも聞いてもらえて情報が共有でき、今後の活動がしやすくなった」等の感想が寄せられた。

# ナッジ理論を活用した 健診受診率向上等について研修

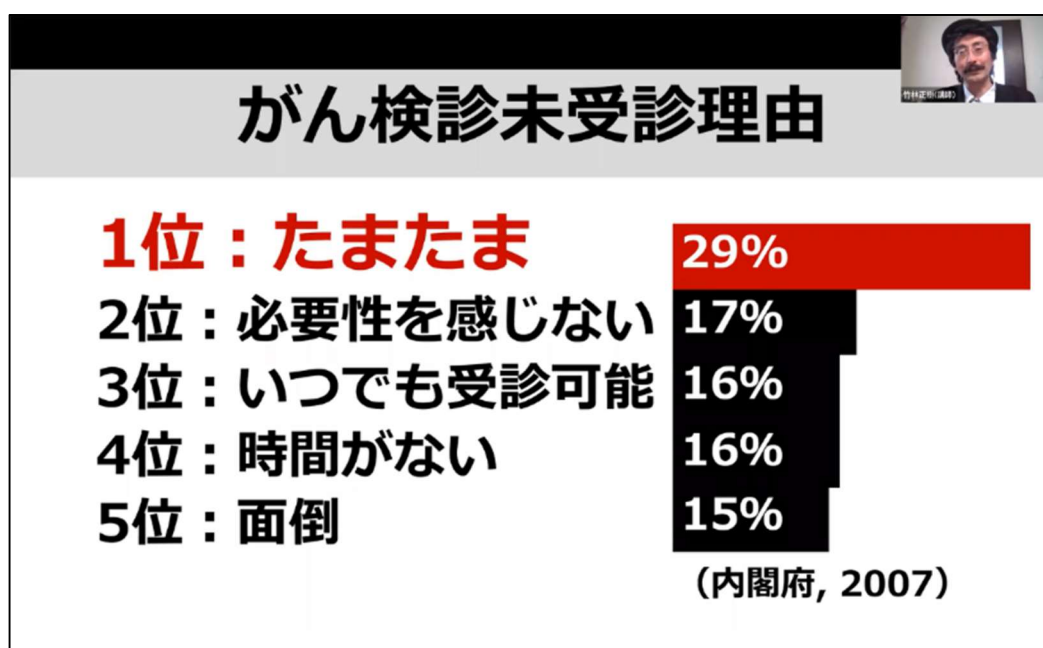
## 健診取組連絡会をWEB開催

本会は3月27日、健診取組連絡会をWEBで開催し、24厚生連及び厚生連と健診活動に取り組んでいる団体から102名が参加した。

本連絡会は、健診事業をとりまく情勢認識や、健診に係る取組みについて共有し、各厚生連における取組みに活用いただくことを目的に開催しており、今年度は、株式会社キャンサーズキャン顧問の竹林正樹氏から「ナッジ理論を活用した健診受診・保健指導の働きかけについて」について講演いただいたのち、グループに分かれ情報交換を行った。

内閣府の調査では、がん検診未受診理由第1位は「たまたま」であった。この「たまたま」の人たちを動かすために、竹林氏は「人の判断の大半は直観が担当するので、直観に訴えることが必要である」と述べた。

質疑応答では、「保健指導の途中で連絡が取れなくなる方の心理」「(チラシ作成時)事前にたくさんの人に聞いた方が上手くいくとのことだが、意見が正反対の時は、どのようにゴールに向かって調整するのか」などの質問があり、竹林氏のこれまでの経験やナッジ理論に基づく回答があった。



講演の様子(株式会社キャンサーズキャン 顧問 竹林氏)

情報交換では、「①健診受診率向上の取組み」「②保健指導の取組み」などについて、グループごとに意見交換が行われた。

意見交換後の報告では、①健診受診率向上の取組みとして「各厚生連の受診勧奨の取組み事例（県民キャンペーンや被扶養者への対応）」や「スタッフ確保の取組み」を共有できたと報告があった。②保健指導の取組みとして「Zoom やメールを活用した特定保健指導の課題や取組み」や「精密検査の受診率向上の取組み」を共有できたと報告があった。

参加者からは「今後の受診勧奨に役立つ知識を教示いただけたので参考になった」「「たまたま受けない」人たちを効果的な広報で受診につなげる取り組みをしていきたい」「他施設の現状を聞くことで、参考になることが多くあった。自施設での取り組みの参考にしたいと思う」等の感想が寄せられた。

なお、講演及び情報交換の全体報告については、参加者の復習や欠席者が後日視聴できることを目的に、動画を期間限定でYouTubeに公開した。



情報交換後の各グループによる報告の様子

# JA全厚連・元経営管理委員会会長・雨宮勇氏 などが受章

## 令和5年春の叙勲・褒章

内閣府は4月29日、令和5年春の叙勲・褒章受章者を発表した。

農林水産省関係では、本会の雨宮勇元経営管理委員会会長が農業振興に貢献したとして旭日中綬章の受章となりました。

厚生労働省関係では、長野県厚生農業協同組合連合会篠ノ井総合病院の清水敏夫診療協力部総技師長兼臨床検査科長が保健衛生に貢献したとして瑞宝双光章の受章となりました。

### ○ JAグループ・厚生連関係者で受章された方

賞 賜	主 要 経 歴	氏 名
旭日中綬章	元 全国厚生農業協同組合連合会 経営管理委員会会長	あめみや いさむ 雨宮 勇
瑞宝双光章	元 長野県厚生農業協同組合連合会 篠ノ井総合病院 診療協力部総技師長 兼臨床検査科長	しみず としお 清水 敏夫





## 白河厚生総合病院附属高等看護学院入学式開催

(JA福島厚生連・白河厚生総合病院附属高等看護学院)

白河厚生総合病院附属高等看護学院（前原和平学院長）の第63回入学式は4月7日、白河市の同学院講堂で行われた。来賓、保護者、教職員、そして4年ぶりに在校生が見守る中、入学生31名（男子4名・女子27名）が入学を許可されました。

前原和平学院長が、「患者さんを元気づけ励ますことができるよう、自分の感情に左右されず、いつでも優しい笑顔と思いやりのある言葉遣いをする訓練をしてください。そして、たくさんの先生、先輩、友人に出会い、多くのものを学び吸収してください。」と式辞を述べました。高久忠JA福島厚生連代表理事理事長、大木進司白河厚生総合病院長、鈴木文子白河厚生総合病院看護部長がお祝いの言葉を贈り、在校生代表の遠藤由加里さんが歓迎の言葉を述べました。

新入生代表の野中萌音さんが「相手の立場になって物事を考え、患者さんとそのご家族に寄り添うことができる看護師を目指していきたい。同じ道を目指す仲間たちと、一人ひとりが目標とする看護師像の実現に向けて励んでまいります。」と誓いの言葉を述べました。

入学生は看護師に必要な知識と技術を身に付ける3年間の学びのスタートをきりました。



誓いの言葉を述べる新入生代表と新入生

(佐藤剛通信員)

## お産でお米をプレゼント

(JA茨城県厚生連・土浦協同病院)

茨城県の南部に位置するJA水郷つくばでは、「ママさん赤ちゃんすくすくプレゼント」と称して、JA管内(土浦市・龍ヶ崎市・牛久市・利根町・美浦村・阿見町・かすみがうら市)に在住し、土浦協同病院(河内敏行病院長)でお産をされた方に精米コシヒカリ5kgをプレゼントしています。

これは、「JA水郷つくば×土浦協同病院 新生児応援プロジェクト」の一環で、令和5年4月1日～令和6年3月31日に出生した赤ちゃんを対象とし、お米をプレゼントして子育てを応援する活動です。

現在、日本では出生率が年々低下しており、少子高齢化の進行が問題となっています。これにともない、日本の農業においても、後継者不足や新規就農者の減少も相まって、人手不足が一段と深刻さを増しています。

今回の活動によって、少しでも出生率の改善や農業への魅力が広く伝わることを願っています。

JA水郷つくば  
×  
土浦協同病院  
新生児応援プロジェクト  
ママさん赤ちゃん  
すくすく  
プレゼント

土浦協同病院にてご出産で  
JA水郷つくば管内(土浦市・龍ヶ崎市・牛久市・  
利根町・美浦村・阿見町・かすみがうら市)に  
在住のご家族に当JAより精米5kgを  
子育て応援としてプレゼントさせていただきます。  
下記必要事項をご記入の上  
JA水郷つくば各支店窓口へお持ちください。

期間:令和5年4月1日～令和6年3月31日まで  
(1家族1回のプレゼントとなります)

本店	土浦市小岩田西1-1-11	TEL.029-822-0534
電ヶ崎中央支店	龍ヶ崎市藤ヶ丘6-1-1	TEL.0297-62-0534
電ヶ崎西支店	龍ヶ崎市藤原1区24-1	TEL.0297-66-1616
牛久支店	牛久市柏田町1527	TEL.029-873-6611
わかき支店	北相馬郡利根町中田切146	TEL.0297-68-2934
美浦支店	稲敷郡美浦村郷中2661-3	TEL.029-885-0125
阿見支店	稲敷郡阿見町中央1-3-1	TEL.029-887-8551
土浦中央支店	土浦市木田余3119-3	TEL.029-821-7300
協同病院支店	土浦市おつ野4-1-1	TEL.029-896-3111
土浦南支店	土浦市小岩田西1-1-11	TEL.029-823-3888
土浦西支店	土浦市粉毛705-2	TEL.029-821-4081
土浦北支店	土浦市藤沢514-1	TEL.029-862-3521
霞ヶ浦支店	かすみがうら市深谷3434-12	TEL.029-897-0583
千代田支店	かすみがうら市中西谷243-2	TEL.0299-59-5550

※お問い合わせは上記各支店までお願い致します。

プレゼントのポスター

(酒井一彦通信員)



## 就職説明会に参加

(JA茨城県厚生連)

JA茨城県厚生連（酒井義法・代表理事理事長）看護統轄管理部では、3月4日に茨城県看護協会が主催する「第14回いばらき看護職合同進学・就職説明会」へ、3月11日にマイナビが主催する「看護学生就職セミナー」へ参加しました。会場には看護師を目指す学生らがたくさん訪れ、出展した各医療機関が自院のPRを行いました。

茨城県における人口10万人に対する看護師数は、47都道府県の中でも非常に低く、県内の各医療機関では看護師の不足が問題となっております。更に、今後の『地域包括ケアシステム』の構築の中で、医療従事者の需要は高くなり、看護師においても地域の各医療機関で確保が困難になることが予想されます。

このような状況ではありますが、これからも積極的に看護師の募集に取り組み、しっかりと医療機関としての態勢を整備し、本会の使命である「地域医療を守る」ことに努めていきたいと思えます。



ブースを訪れた学生にPRするJA茨城県厚生連

(酒井一彦通信員)

## 第51期生が入学

(JA茨城県厚生連・土浦協同病院附属看護専門学校)

JA茨城県厚生連(酒井義法・代表理事理事長)が運営する土浦協同病院附属看護専門学校(渡部誠一学校長)では、4月7日、第51期生となる新入生70名の入学式が行われました。新型コロナウイルスの感染予防対策によって、2020年から2022年は来賓者等の出席が見送られてきましたが、今回はマスクを着用した上で、久々に一堂に会した式典となりました。

渡部誠一同学校長は、あいさつで「看護師を目指す上で、知識・技術の習得はもちろん、心豊かな人間性を養っていく必要がある。これから始まる3年間の授業や実習でしっかりと身に付けてほしい。」と話しました。

これに対し、新入生代表として井坂理子さんは、「一緒に入学した仲間と助け合い、一歩ずつ頑張っていきたい。先生方、先輩方にご指導をお願いしたい。」と述べました。

少子高齢化等により医療環境も変化が進んでおり、今後、看護師には広い知識や様々な技術が求められることが予想されます。そのような状況であっても、3年後は国家試験を見事合格して、立派な看護師として同校を巣立ってほしいです。



新入生答辞を述べる井坂理子さん

(酒井一彦通信員)

## 特定行為研修修了式を行いました

(JA神奈川県厚生連・相模原協同病院)

3月11日に相模原協同病院（井關治和病院長）は、特定行為研修第2期生修了式および実習報告会を行いました。4月より始まった研修制度で、今年度は、GICU 二羽直樹さん、HCU 岩田明哲さん、救急外来 堀欠貴子さんの3名が修了されました。研修で培った専門知識と技術を発揮し、今後の活躍を期待しています。1年間本当にお疲れ様でした。



実績報告会



記念撮影

(生沼貴彦通信員)

## 臨床研修医修了証書授与式を行いました

(JA神奈川県厚生連・相模原協同病院)

3月17日に相模原協同病院（井關治和病院長）は、第18期初期臨床研修医の修了証書授与式を行いました。井關病院長より研修医一人一人に修了証書が授与されました。2年間の研修期間を経て、医師として新たな一步を踏み出した若い دکتر達の意欲に充ちた眼差しが眩しかったです。それぞれ新たな道へと進まれますが、今後のさらなる活躍を期待しています。11名の研修医の皆さんおめでとうございます。



修了証書授与



記念撮影

(生沼貴彦通信員)

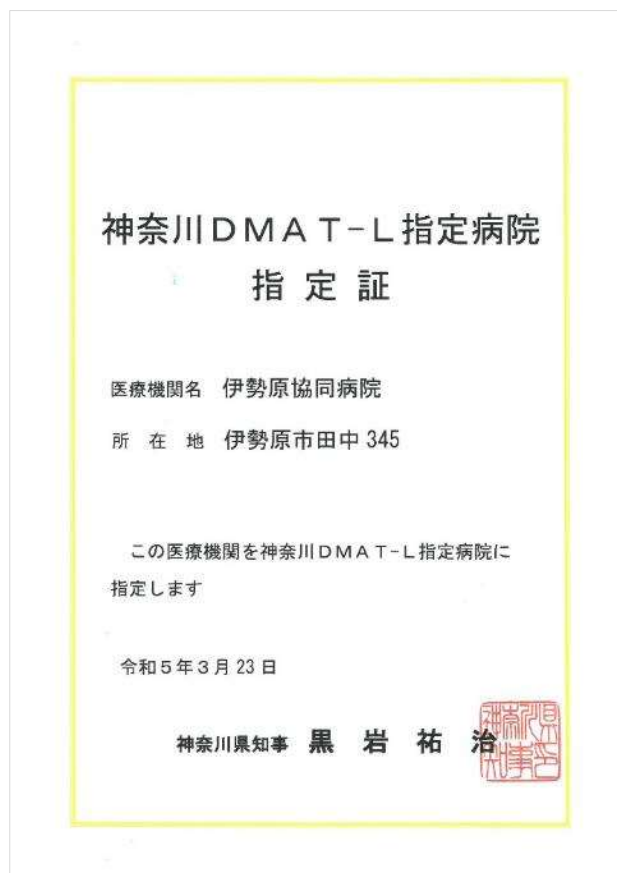
## 神奈川DMA T-L指定病院に認定されました

(JA神奈川県厚生連・伊勢原協同病院)

3月23日に伊勢原協同病院(鎌田修博病院長)は、神奈川DMA T-L指定病院に認定されました。神奈川DMA T-Lは、神奈川県内で発生した災害の急性期に活動できる機動性を持ち、局地災害対応に係る専門的な研修、訓練を受けた災害派遣医療チームのことで、被災市町村等からの要請に基づき、災害拠点病院または災害協力病院から派遣されます。

主な活動内容として、①消防機関等と連携し、トリアージ緊急医療等(現場活動)、②被災地内での患者搬送及び搬送中の治療等(域内搬送)、③災害拠点病院の指揮下に入り、患者の治療等(病院支援)を行います。

災害協力病院として、県内の災害医療体制の充実と強化に貢献します。



指定証

(生沼貴彦通信員)

## 看護専門学校2校で入学式

(JA静岡厚生連・厚生連看護専門学校・するが看護専門学校)

JA静岡厚生連(荒田庄治・代表理事理事長)は4月初旬、厚生連看護専門学校(藤田美保子学校長)とするが看護専門学校(中田昭子学校長)で入学式を開催し、新入生68名が看護師への第1歩を踏み出しました。

荒田庄治代表理事理事長は『病気に悩み苦しんでいる人々に手を差し伸べたい』という優しい気持ちと決意を忘れずに、これからの3年間、基礎となる看護の知識と技術を一生懸命に修得し、全員が看護師国家資格を取得できるよう頑張ってもらいたい』と激励しました。

両校の新入生たちは、それぞれの思いを胸に3年後の看護師国家試験の合格を目指す日々がスタートしました。



誓いの言葉を述べる入学生

(望月俊宏通信員)

## JA愛知厚生連のスペシャルムービー 「その背中」篇を公開しました

(JA愛知厚生連)

JA愛知厚生連(宇野修二・代表理事理事長)では、3月31日よりスペシャルムービーをYouTube公式チャンネルに公開しました。この動画は、「毎日が積み重なる、その背中にのせて。」をテーマに医療現場の弛まぬ毎日の積み重ねと真摯に向き合う職員たちの背中を通して、JA愛知厚生連の想いを表現しています。この動画にはJA愛知厚生連8つの全病院の職員が出演しています。動画制作には、国内外で活躍するクリエイティブディレクター・映像監督・作曲家などの方々にご協力いただきました。



タイトル: JA 愛知厚生連スペシャルムービー「その背中」篇 フルバージョン (116 秒)

### 【プロジェクトの背景】

急激な社会情勢の変化とともに私たちの生活も大きく変化しました。医療現場ではさまざまなスタッフがどんな状況下でも真摯に医療と向き合っています。医療を支える数多くのスタッフの背中を通して、地域の方々や患者さんに安心感をもっていただきたい、JA愛知厚生連が日々の生活に寄り添った存在でありたい、という想いを込めて制作いたしました。さらに、いま働いている職員の皆さんが自分たちの仕事を改めて振り返ることにより、誇りと使命感を持って仕事に取り組んでほしいという願いを込めています。



スペシャルムービーはこちらからご覧ください！

<公式YouTubeチャンネル>

<https://www.youtube.com/watch?v=Egr-k6U7gj8>

#### ■撮影場所

- ・江南厚生病院（2023年2月28日撮影）
- ・安城更生病院・老人保健施設あおみ（2023年3月1日撮影）
- ・稲沢厚生病院（2023年3月2日撮影）

#### ■撮影協力機関

- ・衣浦東部広域連合消防局

#### ■統括部署・出演者・協力団体

- ・統括部署…JA愛知厚生連本部 経営企画課
- ・出演者…JA愛知厚生連 全8病院の職員（60名以上）
- ・協力団体…衣浦東部広域連合消防局

#### ■制作にご協力いただいたスタッフリスト（敬称略）

クリエイティブディレクター・コピーライター：石本香緒理（AO CHAN）

様々なメディアの広告クリエイティブ、地域・企業ブランディングなど幅広く手がける。  
コトバを軸に背骨のあるコミュニケーションを設計。国内外の広告賞受賞、書籍掲載多数。

演出・撮影・グレーディング：藤代雄一郎

大手企業の広告から、NHK 紅白歌合戦やTOKYO2020 閉会式の映像まで、幅広い映像作品を手がける。  
人間のあたたかさ、美しさ、力強さを描きだすエモーショナルな演出を行う。

音楽：ナカシマヤスヒロ

日本人離れした音づくりの感性で、国内外問わず様々なCM やTV ドラマの楽曲を手掛ける作曲家。  
心の琴線に触れるストーリー性ある音楽で、見る人を映像の世界へ引き込む。

プロデューサー：河合信城（アストロランド）、小澤 友理花（アストロランド）

プロダクションマネージャー：平田樹生（アストロランド）

撮影：宮田暁生（映像畑）

スタイリスト・ヘアメイク：岩井清美

オフラインエディター：高田涼平（freta）

オンラインエディター：神門正彦（スタジオインターフィールド）

MA ミキサー：上松 健二（Zaxx）

ナレーター：原田菜美（NTC 事務局）

アカウントエグゼクティブ：加藤大輔（電通名鉄コミュニケーションズ）

企画制作：株式会社電通名鉄コミュニケーションズ

株式会社アストロランド

株式会社AO CHAN

#### ■楽曲について

本動画で使用している楽曲は、JA愛知厚生連の想いをもとに毎日の一人ひとりの仕事と想い、技術が積み重なり、つらなり、未来につながっていくことをイメージし、ナカシマヤスヒロ氏が作曲したオリジナル楽曲「日々脈々」となっております。医療現場の臨場感ある環境音と重なるサウンド構成も聴きどころとなっております。ぜひ、音声をオンにしてご視聴ください。

（井桁千聡通信員）



## アイリンブループロジェクトの奇跡の花を 仙台市へお送りしました

(JA愛知厚生連・海南病院)

海南病院（奥村明彦病院長）では、2015年2月から東日本大震災の被災地に咲いた「奇跡の花」を全国に広げる「アイリンブループロジェクト」に協力し、奇跡の花「あいりちゃん®」を育てています。4月26日から仙台市で開催される「第40回全国都市緑化仙台フェア“未来の杜せんたい 2023”」に参加するため弥富造園の佐藤様のご協力を得て、当院の花壇から株分けした奇跡の花「あいりちゃん®」を仙台市の会場にお送りいたしました。仙台でも元気に咲いてくれることを願っています。



海南病院の玄関にある花壇

山本名誉院長(左)、弥富造園の佐藤様(右)



奇跡の花「あいりちゃん®」

### 【アイリンブループロジェクト】

震災のあった2011年3月11日、宮城県石巻市の沿岸部で佐藤愛梨ちゃん（当時6歳）ら園児5人らが乗った送迎バスが津波に襲われました。数年後、現場に真っ白なフランスギクが咲きました。「この花の種を各地で育てて、命の大切さを世界に広めたい」と現地の人たちによってプロジェクトがスタートしました。

(井桁千聡通信員)

## 新型コロナワクチン大規模集団接種会場の 運営を終了しました

(JA愛知厚生連)

令和3年5月より愛知県の委託をうけて運営していた大規模集団接種会場は令和5年3月25日をもって終了しました。現場の運営スタッフはもちろん、会場準備をした安城更生病院（度会正人病院長）の職員、その他、様々な形で大規模接種会場の運営にご尽力いただき、大きな事故も無く運営を終えることができました。



最終日の記念撮影

### 【実績報告】

運営回数：135回

接種回数：59,183回（うち予約外7,444回）

1日最高1,167回

副反応者数（ER受診者数）：17人（0.029%）

職員数：延べ2,362人

（医師291、薬剤師226、看護師450、事務等1,395）

運営期間

- ・2021/7/31～11/6の毎週土・日曜日
- ・2022/2/5～8/28の毎週土・日曜日
- ・2022/9/3～11/5の毎週土曜日
- ・2022/11/12～2023/1/29の毎週土・日曜日
- ・2023/2/4～3/25の毎週土曜日

(井桁千聡通信員)

## がん市民公開講座を開催

(JA三重厚生連・松阪中央総合病院)

JA三重厚生連(庄山隆裕・代表理事理事長)松阪中央総合病院(田端正己病院長)では3月18日、松阪市のフレックスホテルで令和4年度市民公開講座「がんと生きる」を開催し、135名の参加がありました。

JA愛知厚生連(宇野修二・代表理事理事長)海南病院(奥村明彦病院長)・緩和ケア内科の大橋洋平医師を講師に迎え、『足し算命』で気い楽に～松阪～と題し、緩和ケア医ががん患者となった経験をもとにした特別講演が行われました。

参加された地域の皆さんの中には、会場での開催を心待ちにしてくださった方も多数おられ、先生のユーモアあふれるお話に熱心に聴き入り、笑い声に包まれる場面もあり、対面開催ならではの醍醐味を感じることができました。

「医師の立場で患者の気持ちを経験された貴重な話をきけてよかった」、「自分も同じがんで闘病中だが、生命を一日ずつ足していく足し算命を気い楽に聞かせていただいてよかった。先生の前向きな生き方に感動した」や、「家族が入院中で、どのように向き合うか悩んでいたが、先生の言葉をヒントにかかわっていききたい」といったご意見が寄せられ、がん治療に関する関心の高さが感じられました。これからも会場での実開催が出来ることを願うとともに、がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、地域の皆さんに役立つイベントを企画していきます。



会場風景



大橋先生書籍

(教来石信彦通信員)

## 令和5年度新規採用者研修を開催

(JA三重厚生連)

JA三重厚生連（庄山隆裕・代表理事理事長）では、3月22日、令和5年度新規採用者に対する研修会を三重県総合文化センター中ホールで開催しました。

庄山理事長からの歓迎の祝辞と訓辞につづき、採用者代表から力強い抱負と決意の宣言があり、研修会は開会しました。

特別講演には、株式会社HAYASHIDA - CS 総研 代表取締役の柿原まゆみ氏を講師に迎え、働く意義、他者に寄り添う思いやりの姿勢など、これから医療に携わる者としての心構えを研修しました。また、JAグループにおける厚生事業の位置づけや役割、医療保険制度、本会の就業規則と給与規程など、就職にあたり基礎的分野の知識習得を目的に講義を行いました。

4月からは配属先病院で新人オリエンテーションに臨みます。研修で培った知識と実地での経験を積み重ね、これからの活躍を期待しています。



理事長訓示



決意表明



特別講演



講義のようす

(教来石信彦通信員)

## 院内保育所を新築

(JA三重厚生連・三重北医療センターいなべ総合病院)

JA三重厚生連(庄山隆裕・代表理事理事長)三重北医療センターいなべ総合病院(相田直隆病院長)では院内保育所「このはな保育園」を病院敷地内に新築移設しました。

これまで、いなべ総合病院では旧医師住宅を改造して夜間保育を実施していましたが、建物の老朽化と昼間の保育に対するニーズの高まりを受け、昨年より病院敷地内で建物新築工事を実施し、4月よりリニューアルオープンしました。

新しい建物は木造瓦葺き平屋建て、延べ面積は136.06㎡となり、旧建物に比べ1.8倍の広さで余裕をもった保育スペースを確保したほか、建物内にも木製品を多用し温かみのある空間としました。

新しい保育園では引き続き夜間保育を実施するほか、敷地内に移設したことから職員の安心感にもつながっています。

子どもたちもさっそく新しい建物をすみずみまで探検していました。



建物全景



保育室内

(教来石信彦通信員)